

## 能力分析表（書くこと～感想文～）・試案

No.	項目	つけるべき能力	小12年	小34年	小56年	中1年	中23年	技術
1	認識・思考	自分が変容したことをわかりやすく書く			○			⑤
2	認識・思考	自分の内面に踏み込んだことをわかりやすく書く				○		⑤
3	認識・思考	読者に共感を求める内容を書く					○	④
4	認識・思考	感動対象に対して、深く掘り下げた内容を書く					○	⑤
5	認識・思考	対象への興味・関心・感動（共鳴・反発・疑問など）を表出して書く			○			⑤
6	認識・思考	自分の生き方に照らし合わせて書く					○	⑤
7	認識・思考	個性的な主観が表れている内容で書く				○		②
8	基礎技能	主述を正しく照応させて書く			○			⑥
9	基礎技能	副詞の呼応を正しく照応させて書く				○		⑥
10	基礎技能	語句の重複を避けて書く			○			⑥
11	基礎技能	助詞を正しく使用して書く				○		⑥
12	基礎技能	時間の順序を正しく書く		○				⑥
13	基礎技能	文字・符号・文法・表現技法に誤りなく書く			○			⑥
14	基礎技能	状況や場面の様子（5W1H）を正確に示して書く			○			⑥
15	基礎技能	原稿用紙の正しい使い方に沿って書く				○		⑥
16	取材	聞き（読み・見）ながら、メモを取る			○			③
17	選材	感動対象が豊かで、発達段階に相応した内容を選ぶ	○					②
18	構成	段落を正しく分けて書く			○			③
19	構成	中心段落をはっきりさせ、適切な位置づけをして書く			○			③
20	構成	感動経験（直接的・間接的）の事実を正確に伝えられる構成工夫をして書く				○		③
21	記述	感動経験（直接的・間接的）の事実を正確に書く			○			④
22	記述	事実と感想を区別して書く			○			④
23	記述	感想と意見を区別して書く			○			④
24	記述	書き出しを工夫して書く				○		⑥
25	記述	感想（意見）を裏づける事実・結果を書く			○			①
26	記述	効果的な表現技法を使って書く				○		⑥
27	記述	結びを工夫して書く				○		⑥
28	記述	会話文・比喩・引用文を活用して書く				○		④
29	記述	相手意識を明確にして書く			○			④
30	記述	必要な資料（図表・写真・挿絵等）を効果的に活用して書く			○			③
31	記述	直接表現を避け、生き生きとした描写で表現して書く				○		⑥
32	記述	一語に集約した感動を分かりやすく描写・説明をして書く				○		④
33	記述	専門的用語を避けるか、わかりやすく言い換えて書く				○		④

● 別水準の「感想文」を書くための技術

① 事象を捉え、問題・感想を持つ技術
② 問題を解析し、感想を豊かにする技術
③ 材料を収集、整理し、文章の構成を整える技術
④ 目的、相手に応じてわかりやすく、具体的に表現する技術
⑤ ものの見方、考え方、感じ方を表現する技術
⑥ 文章表現をするための基礎的技術